

A N Aホールディングス株式会社 説明会

2018年3月期 第2四半期 決算説明会

代表取締役 副社長執行役員

長峯 豊之

2017年11月1日



目 次

1. 2017年度 第2四半期 決算（概要）

2017年度 第2四半期決算	P. 4
2017年度 通期業績予想	P. 5
事業戦略	P. 6
財務戦略	P. 7
【参考】ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債 ・自己株式取得の概要	P. 8

2. 2017年度 第2四半期 決算（詳細）

業績ハイライト	P. 10
連結決算概要	
経営成績	P. 11
財政状態	P. 12
キャッシュフロー	P. 13
セグメント別実績	P. 14
航空事業	
収入・費用	P. 15
営業利益増減要因	P. 16
国内旅客事業	P. 17-18
国際旅客事業	P. 19-22
国内貨物事業	P. 23
国際貨物事業	P. 24-26
LCC事業	P. 27-28
航空事業以外のセグメント	P. 29
燃油・為替ヘッジの進捗状況（ANAブランド）	P. 30

3. 2017年度 通期業績予想（詳細）

連結業績予想	P. 32
セグメント別 業績予想	P. 33
航空事業 収入・費用予想	P. 34

補足資料

運用航空機数	P. 36
国際旅客 方面別実績（構成比）	P. 37
国際貨物 方面別実績（構成比）	P. 38

ディスクロージャー
2017年度 優良企業



1. 2017年度 第2四半期決算（概要）



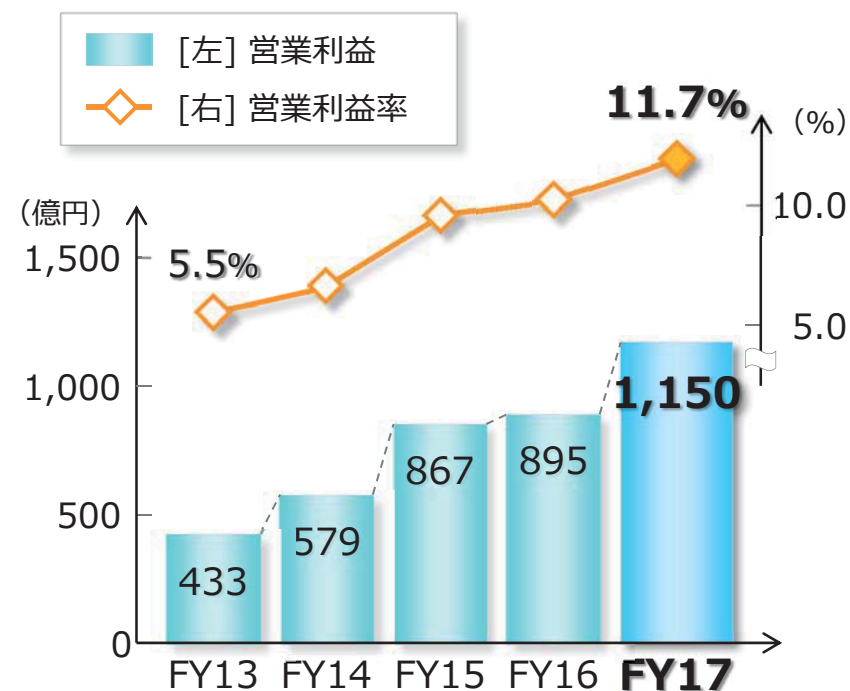
2017年度 第2四半期決算

着実な成長戦略とコストマネジメントの推進により、全ての利益段階で過去最高を更新

1. 連結決算の状況

(億円)	実績	前年差	前年比
売上高	9,850	+1,000	+11.3%
航空事業	8,654	+962	+12.5%
営業利益	1,150	+255	+28.5%
航空事業	1,092	+245	+28.9%
営業利益率	11.7%	+1.6%	—
経常利益	1,127	+292	+35.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,183	+609	+106.1%
EBITDA	1,891	+312	+19.8%

2. 営業利益・営業利益率の推移（上期）



- 売上高 : 主力の航空事業が堅調に推移
- 営業利益 : 上期で初めて1,000億円を超過
(第1四半期 : 254億円、第2四半期 : 896億円)

2017年度 通期業績予想

上期の計画達成状況を勘案し、通期業績予想を上方修正

1. 2017年度 通期業績予想の修正

(億円)	当初計画 ('17.4.28開示)	今回修正	差異	
売上高	19,100	19,250	+ 150	➡ 上期実績 を反映
営業費用	17,600	17,650	+ 50	➡ 上期実績 + 下期見通し を反映
営業利益	1,500	1,600	+ 100	
営業利益率	7.9%	8.3%	+ 0.5%	
経常利益	1,400	1,500	+ 100	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,250	1,320	+ 70	

市況前提は修正なし
(為替)
・円／米ドル ￥110/US\$
(燃油)
・ドバイ原油 \$55/bbl
・シンガポールケロシン \$68/bbl

事業戦略

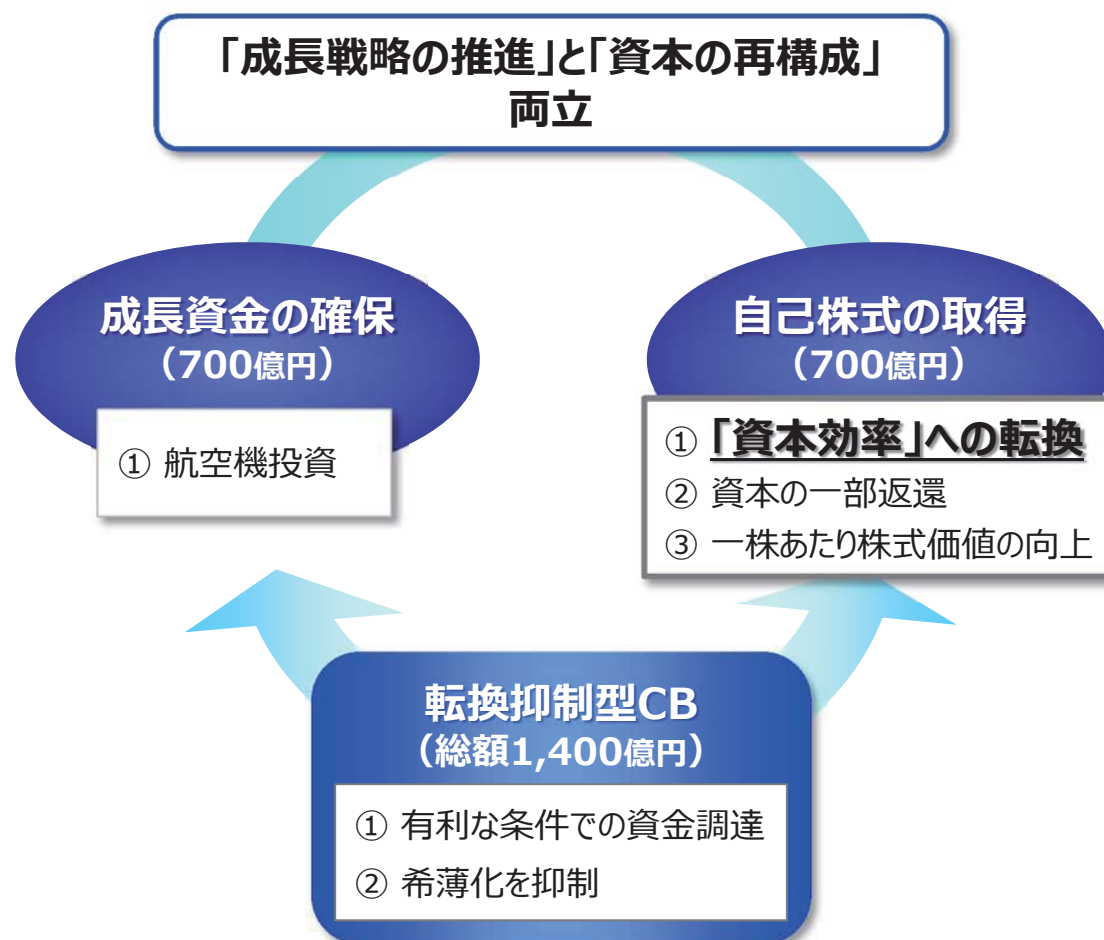
現行戦略の主要テーマに則り、経営の基盤固めを優先しつつ収益性の向上を追求

	2017年度 主要テーマ	取り組み（進捗）
国際旅客	1) 生産量拡大を継続 2) プロダクト・サービスの強化	① 羽田深夜・早朝枠、成田枠の活用 [増便] 8/1～羽田－ジャカルタ線、10/29～成田－ロサンゼルス線 ② B787-9型機の更なる投入（今年度：7機受領予定）
国内旅客	1) 需給適合の継続 2) 収益基盤の強化	① A321型機の積極的な活用（今年度：6機受領予定） ② プロモーション運賃投入による収入の最大化
国際貨物	1) 事業収益性の改善	① 旺盛な貨物需要の取り込み、イールドの向上 ② フレイター生産量の抑制、ネットワーク再構築
LCC	1) LCC需要の拡大	① バニラ　： イールドマネジメントの強化 ② Peach　： グループ連結化、仙台空港の拠点化
コスト	1) 「安全」と「人」への投資 2) ユニットコストのコントロール	① 整備体制の強化、将来に向けた人財の確保 ② 生産量拡大を活かした事業効率性の追求

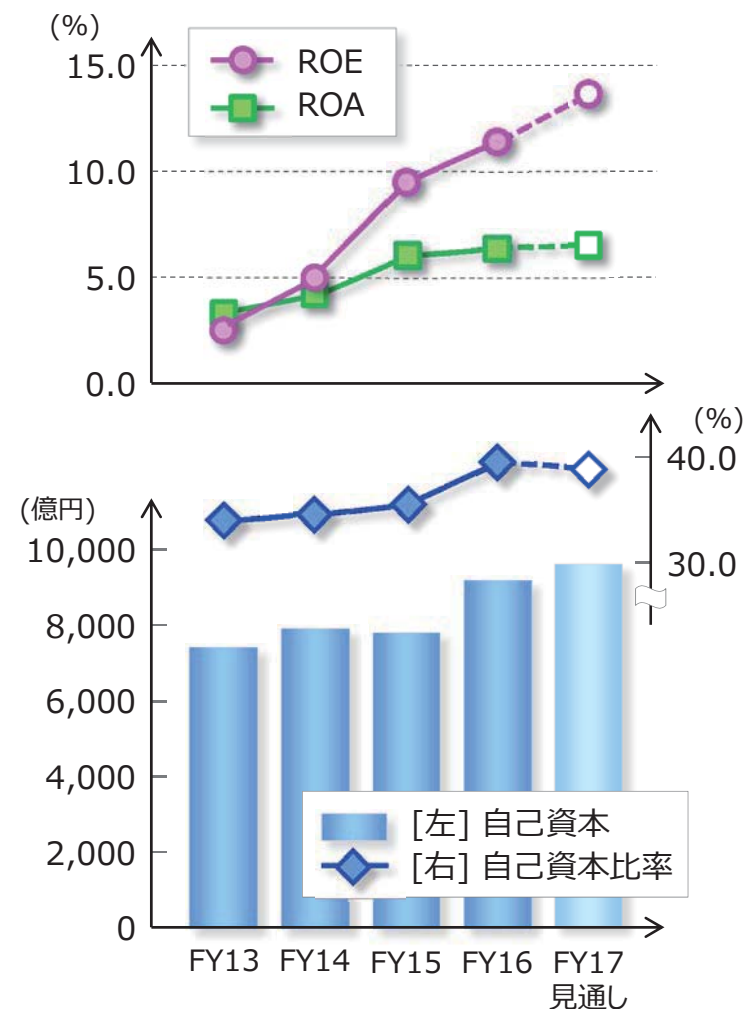
財務戦略

最適な財務基盤を追求しながら成長を継続、持続的な価値創造の実現へ

1. 財務・資本政策（企図）



2. 経営・財務指標の推移



【参考】ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債・自己株式取得の概要

【参考①】 CB発行 概要

【参考①】 CB発行 概要		5年債		7年債	
(1) 払込日（発行日）		2017年9月19日			
(2) 償還期日		2022年9月16日		2024年9月19日	
(3) 発行額		700億円		700億円	
(4) 利率（クーポン）		0.0%		0.0%	
(5) 転換価額		5,180円（アップ率：27.02%）		5,100円（アップ率：25.06%）	
(6) スキーム （転換抑制）	① 転換制限条項 トリガー価格	7,770円（※1）	6,734円（※2）	7,650円（※1）	6,630円（※2）
	② 取得条項	【自動行使型取得条項 + 一括型取得条項】（併用） i. 現金交付（CBの額面金額まで）、株式交付（額面を超える部分のみ） ii. 交付株数に上限を設定			
(7) 上限希薄化率		3.89%（1,361万株）⇒ 2種類の取得条項（交付株数上限型）を行使した場合			

※1 転換価額の150%（～償還 約1年前）

※2 転換価額の130%（償還 約1年前～3ヵ月前）

【参考②】 自己株式取得 概要

(8) 取得期間	2017年9月1日 ～ 2018年3月31日
(9) 取得上限 株式数／総額	2,500万株／700億円
(10) 発行済対比自己株式取得率	4.90%（1,716万株） ⇒ 条件決定時の株価を前提（株式併合を加味：4,078円）

ポイント

(7) 上限希薄化率

<

(10) 自己株式取得率

希薄化を抑制

2. 2017年度 第2四半期決算（詳細）



業績ハイライト

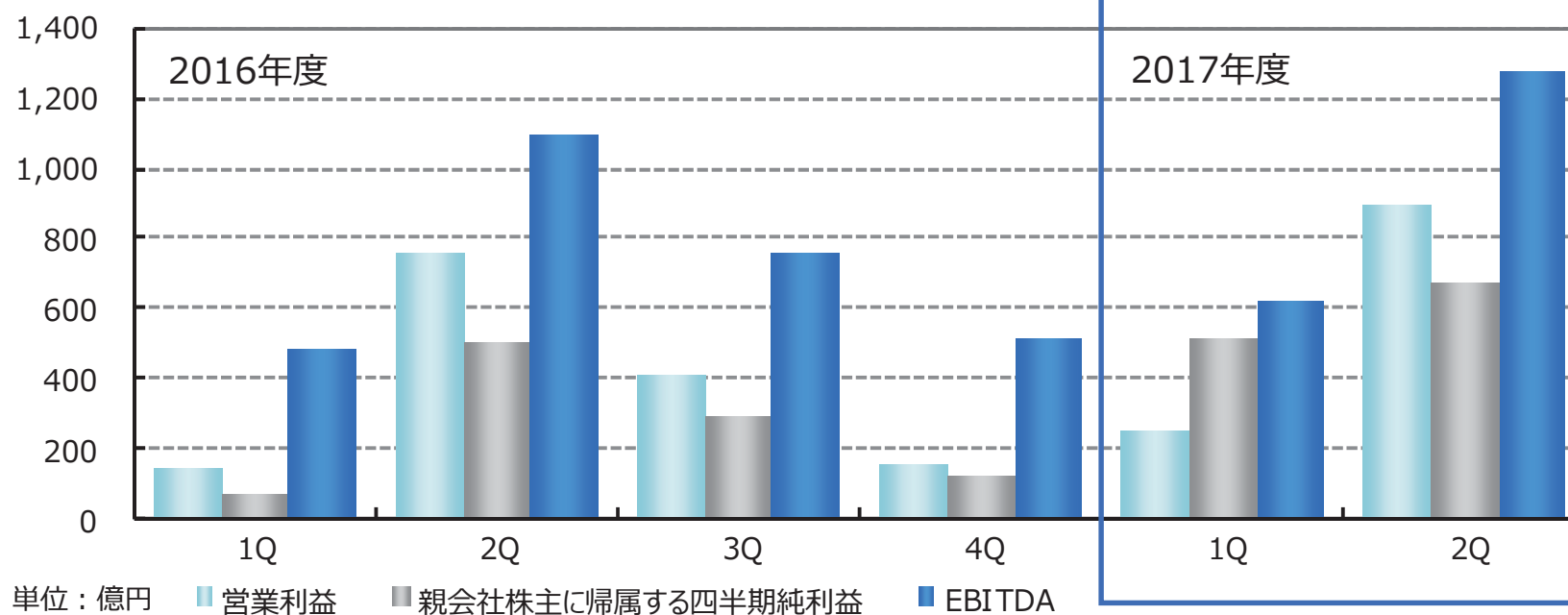
当年度と前年度各四半期の業績比較

【2017年度 第2四半期 累計（連結）】

- 営業利益 : 1,150億円（前年同期比 + 255億円）
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 : 1,183億円（同 + 609億円）
- EBITDA : 1,891億円（同 + 312億円）

【第2四半期（7-9月期）（連結）】

- 営業利益 : 896億円
- 親会社株主に帰属する
四半期純利益 : 673億円
- EBITDA : 1,270億円



連結決算概要

経営成績

単位：億円

	FY2016 第2四半期累計	FY2017 第2四半期累計	前年差	FY2017 第2四半期	前年差
売上高	8,849	9,850	+ 1,000	5,333	+ 527
営業費用	7,954	8,699	+ 745	4,436	+ 385
営業利益	895	1,150	+ 255	896	+ 142
営業利益率 (%)	10.1	11.7	+ 1.6	16.8	+ 1.1
営業外損益	△ 61	△ 23	+ 37	△ 16	+ 9
経常利益	834	1,127	+ 292	879	+ 151
特別損益	1	439	+ 438	84	+ 84
親会社株主に帰属する四半期純利益	574	1,183	+ 609	673	+ 165
四半期純利益	576	1,197	+ 621	685	+ 176
その他包括利益	△ 125	166	+ 292	119	+ 76
包括利益	451	1,364	+ 913	805	+ 252

連結決算概要

財政状態

単位：億円

	FY2016 期末	FY2017 第2四半期末	前年度 期末差
総資産	23,144	25,829	+ 2,685
自己資本	9,191	10,139	+ 948
自己資本比率(%)	39.7	39.3	△ 0.5
有利子負債残高	7,298	8,438	+ 1,139
D/Eレシオ（倍）*	0.8	0.8	+ 0.0
純有利子負債残高 **	4,110	4,101	△ 9

* オフバランスリース債務額 295億円（前年度期末 461億円）を含むD/Eレシオは0.9倍（前年度期末0.8倍）

** 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - （流動資産（現金及び預金 + 有価証券））

連結決算概要

キャッシュフロー

単位：億円

	FY2016 第2四半期累計	FY2017 第2四半期累計	前年差
営業キャッシュフロー	1,137	2,065	+ 927
投資キャッシュフロー	△ 1,153	△ 2,108	△ 955
財務キャッシュフロー	145	671	+ 526
現金及び現金同等物の増減額	84	631	+ 547
現金及び現金同等物の期首残高	2,651	3,090	+ 631
現金及び現金同等物の期末残高	2,735	3,722	
減価償却費	683	740	+ 57
設備投資額（固定資産のみ）	1,150	1,968	+ 817
実質フリーキャッシュフロー （3ヶ月超の定期・譲渡性預金を除く）	△ 11	+ 398	+ 409
EBITDA（営業利益＋減価償却費）	1,579	1,891	+ 312
EBITDAマージン(%)	17.8	19.2	+ 1.4

連結決算概要

セグメント別実績		単位：億円	FY2016 第2四半期累計	FY2017 第2四半期累計	前年差	FY2017 第2四半期	前年差
売上高	航空事業		7,691	8,654	+ 962	4,685	+ 502
	航空関連事業		1,277	1,415	+ 138	757	+ 93
	旅行事業		824	835	+ 10	472	△ 11
	商社事業		689	691	+ 2	356	+ 11
	報告セグメント計		10,482	11,597	+ 1,114	6,272	+ 596
	その他		166	186	+ 19	97	+ 14
	調整額		△ 1,799	△ 1,932	△ 132	△ 1,036	△ 84
	合計（連結）		8,849	9,850	+ 1,000	5,333	+ 527
営業利益	航空事業		847	1,092	+ 245	861	+ 139
	航空関連事業		53	68	+ 15	26	△ 2
	旅行事業		20	22	+ 2	15	+ 2
	商社事業		26	22	△ 3	12	△ 2
	報告セグメント計		947	1,206	+ 259	915	+ 135
	その他		7	16	+ 9	10	+ 7
	調整額		△ 59	△ 72	△ 13	△ 30	△ 1
	合計（連結）		895	1,150	+ 255	896	+ 142

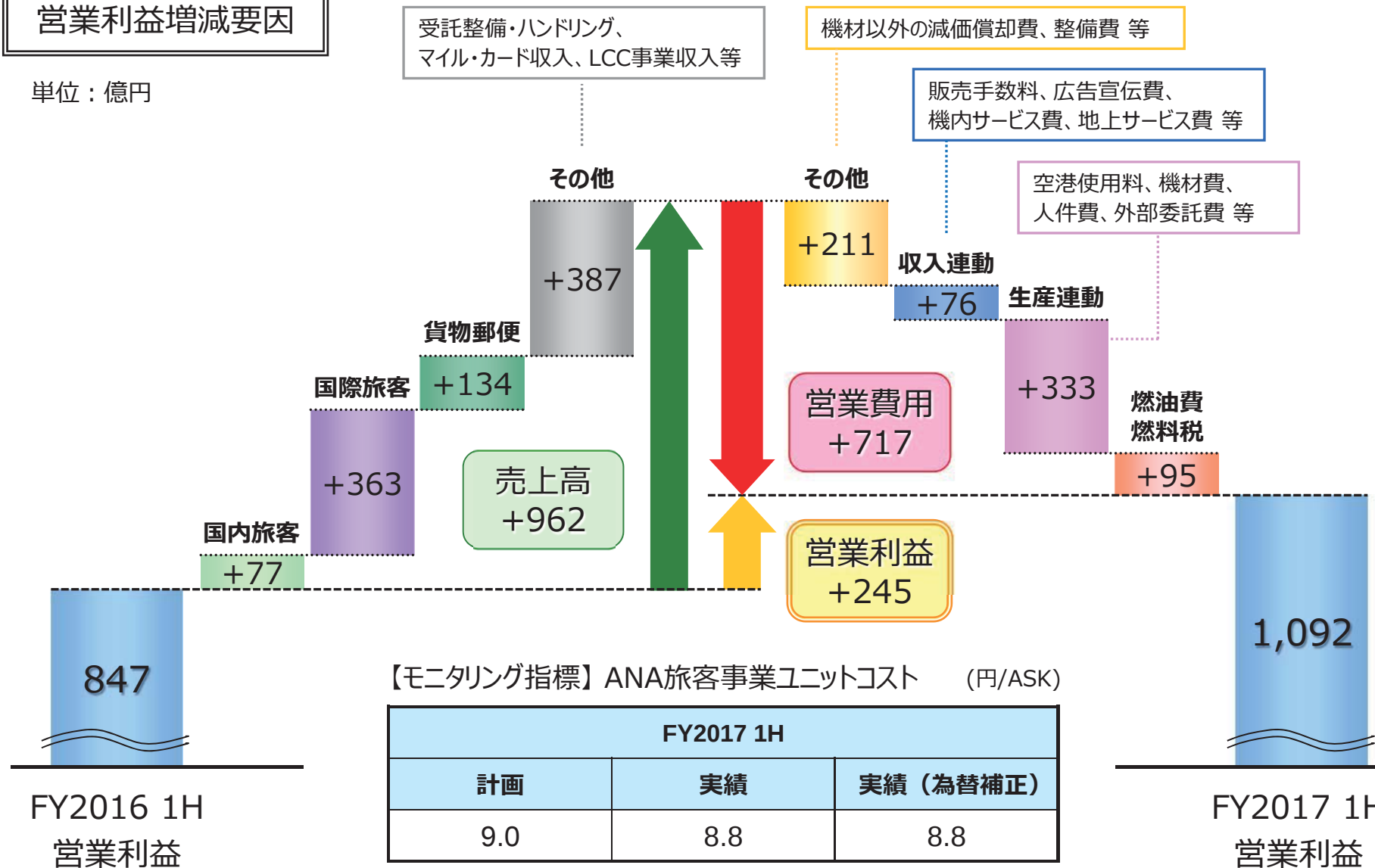
航空事業

収入・費用		単位：億円	FY2016 第2四半期累計	FY2017 第2四半期累計	前年差	FY2017 第2四半期	前年差
売上高	国内線旅客		3,474	3,551	+ 77	2,005	+ 36
	国際線旅客		2,591	2,955	+ 363	1,560	+ 202
	貨物郵便		608	742	+ 134	379	+ 68
	その他		1,016	1,404	+ 387	739	+ 195
	合計		7,691	8,654	+ 962	4,685	+ 502
営業費用	燃油費・燃料税		1,362	1,458	+ 95	730	+ 36
	空港使用料		571	619	+ 47	317	+ 24
	航空機材賃借費		495	553	+ 57	277	+ 32
	減価償却費		650	708	+ 57	357	+ 30
	整備部品・外注費		514	654	+ 139	326	+ 58
	人件費		916	988	+ 71	501	+ 35
	販売費		450	505	+ 54	260	+ 39
	外部委託費		987	1,094	+ 107	552	+ 52
	その他		894	979	+ 85	499	+ 52
	合計		6,843	7,561	+ 717	3,824	+ 363
営業利益			847	1,092	+ 245	861	+ 139
EBITDA (営業利益+減価償却費)			1,498	1,801	+ 302	1,218	+ 170
EBITDAマージン			19.5	20.8	+ 1.3	26.0	+ 0.9

航空事業

営業利益増減要因

単位：億円



航空事業

国内旅客事業（実績）

(ANAブランド)	FY2016 第2四半期累計	FY2017 第2四半期累計	前年比(%)	FY2017 第2四半期	前年比(%)
座席キロ（百万）	30,225	30,051	△ 0.6	15,641	△ 1.2
旅客キロ（百万）	19,526	20,481	+ 4.9	11,184	+ 4.2
旅客数（千人）	21,520	22,499	+ 4.6	12,146	+ 3.5
座席利用率（%）	64.6	68.2	+ 3.5*	71.5	+ 3.7*
旅客収入（億円）	3,474	3,551	+ 2.2	2,005	+ 1.8
ユニットレベニュー（円） （旅客収入／座席キロ）	11.5	11.8	+ 2.8	12.8	+ 3.1
イールド（円） （旅客収入／旅客キロ）	17.8	17.3	△ 2.5	17.9	△ 2.3
単価（円） （旅客収入／旅客数）	16,146	15,785	△ 2.2	16,511	△ 1.6

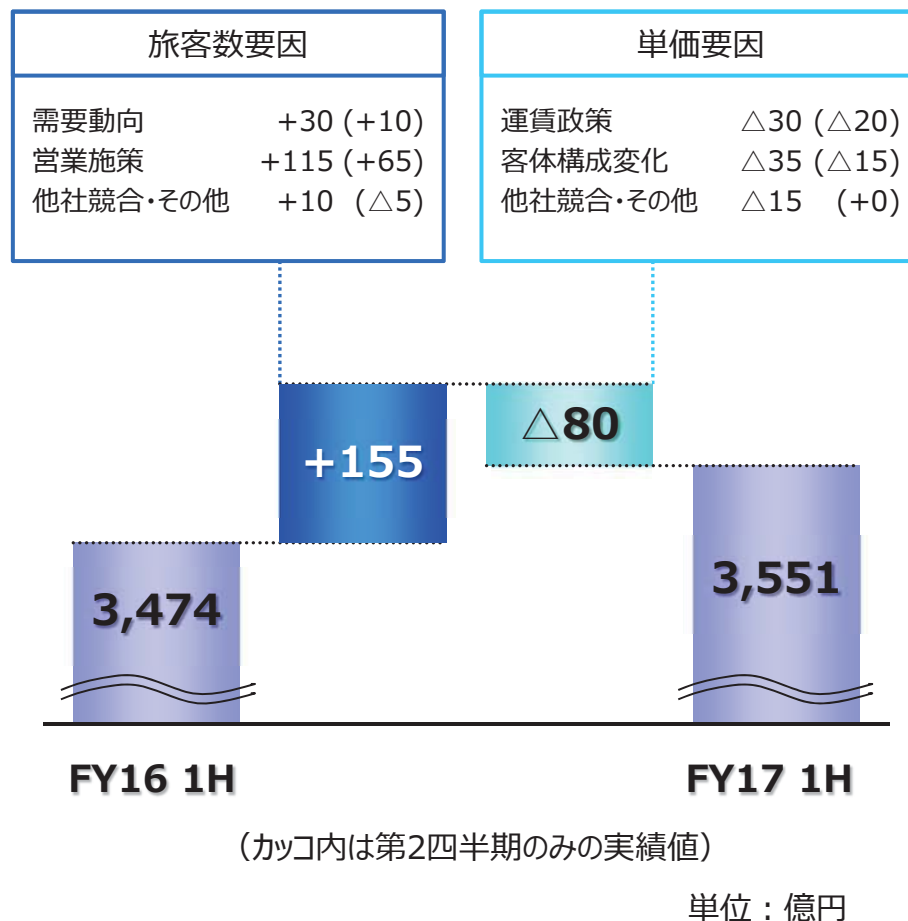
* 座席利用率のみ前年差

航空事業

国内旅客事業（事業動向）

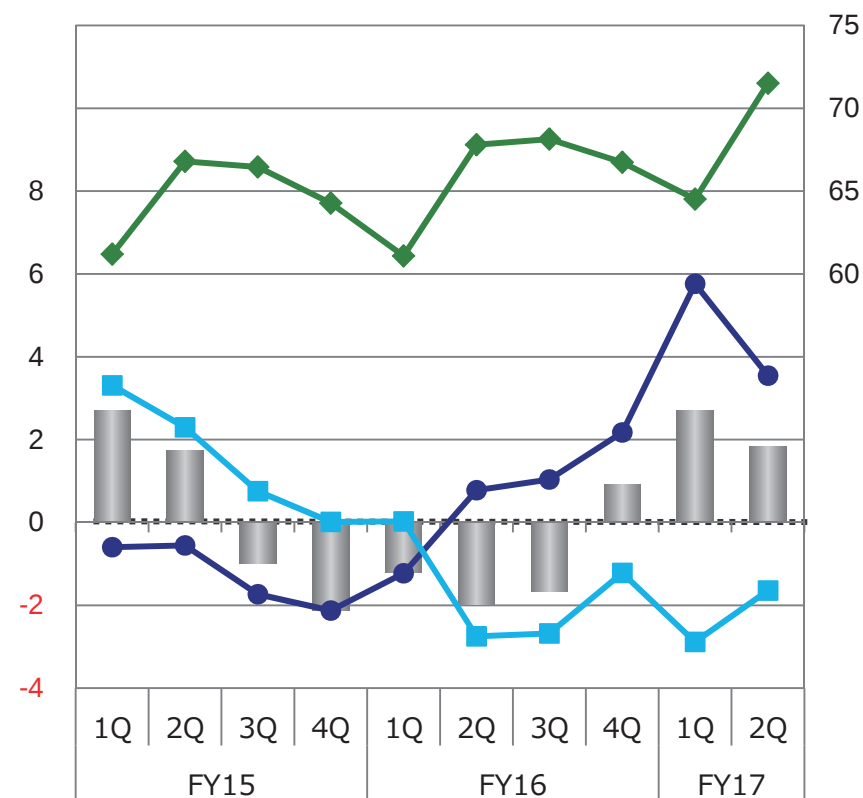
（ANAブランド）

第2四半期累計 収入増減要因



四半期別 実績推移

左軸（前年比:%） ■：旅客収入 ●：旅客数 □：単価
右軸（実績:%） ◆：座席利用率



航空事業

国際旅客事業（実績）

(ANAブランド)	FY2016 第2四半期累計	FY2017 第2四半期累計	前年比(%)	FY2017 第2四半期	前年比(%)
座席キロ（百万）	29,458	31,852	+ 8.1	16,092	+ 8.4
旅客キロ（百万）	22,309	24,156	+ 8.3	12,548	+ 7.7
旅客数（千人）	4,479	4,761	+ 6.3	2,514	+ 7.1
座席利用率（%）	75.7	75.8	+ 0.1*	78.0	△ 0.5*
旅客収入（億円）	2,591	2,955	+ 14.0	1,560	+ 14.9
ユニットレベニュー（円） （旅客収入／座席キロ）	8.8	9.3	+ 5.5	9.7	+ 6.0
イールド（円） （旅客収入／旅客キロ）	11.6	12.2	+ 5.3	12.4	+ 6.6
単価（円） （旅客収入／旅客数）	57,854	62,062	+ 7.3	62,052	+ 7.3

* 座席利用率のみ前年差

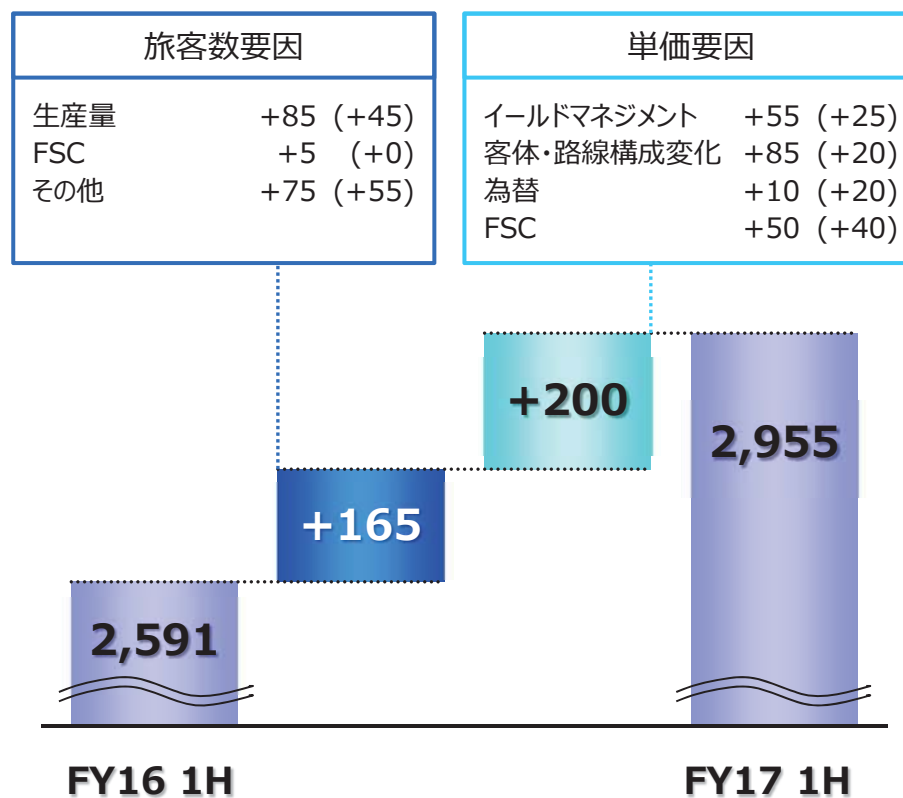
航空事業

国際旅客事業（事業動向）

（ANAブランド）

第2四半期累計 収入増減要因

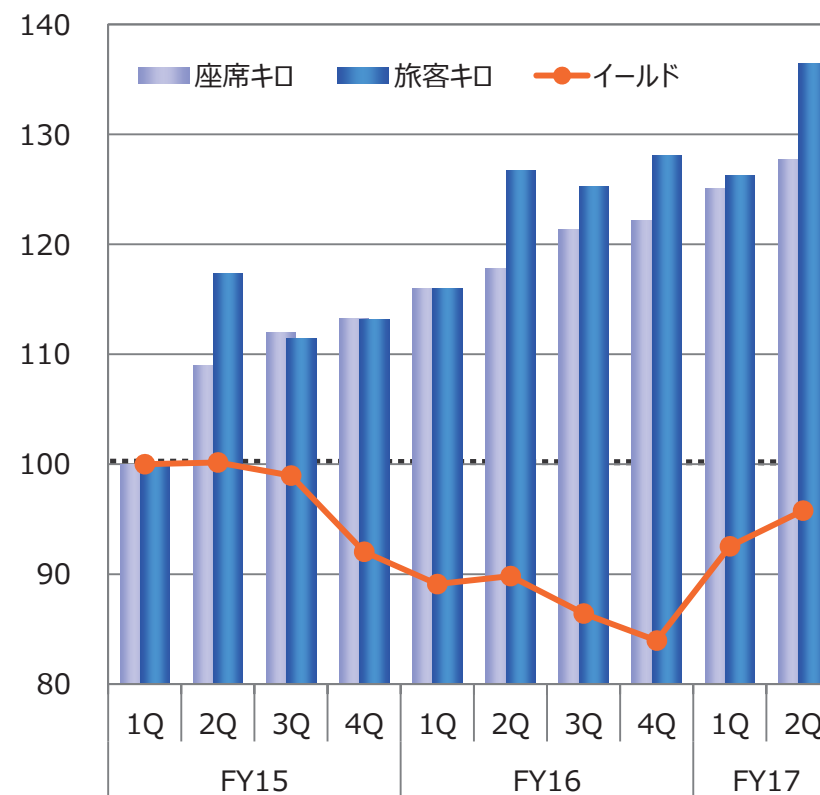
四半期別 実績推移



（カッコ内は第2四半期のみの実績値）

単位：億円

（指数：FY15 1Q=100）



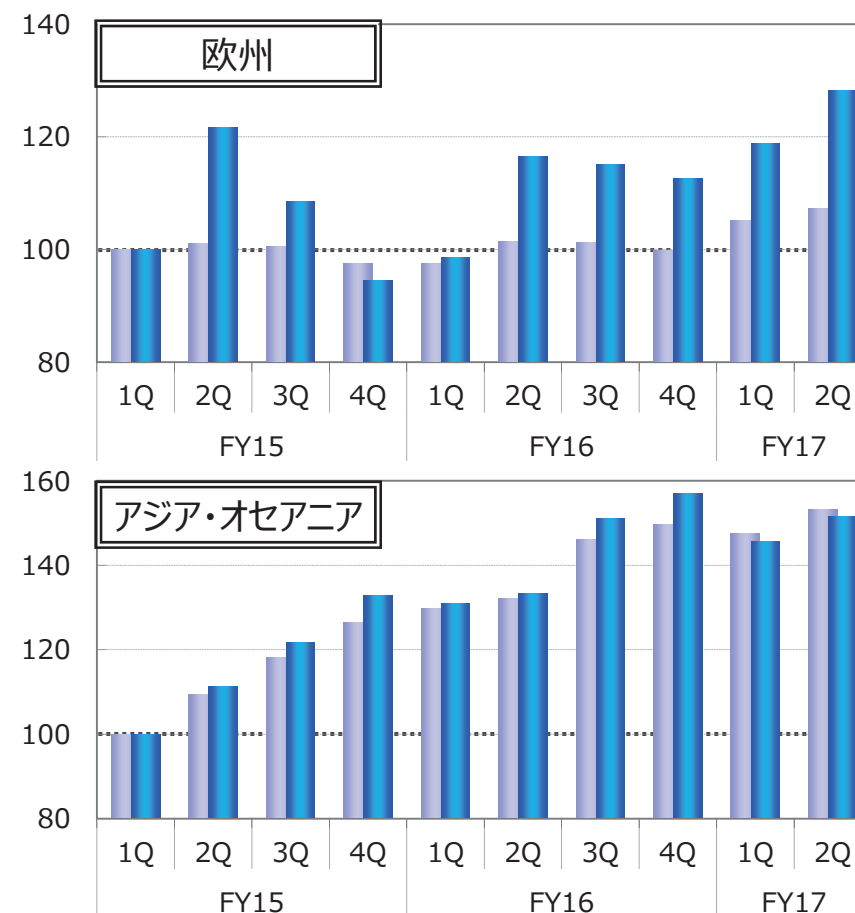
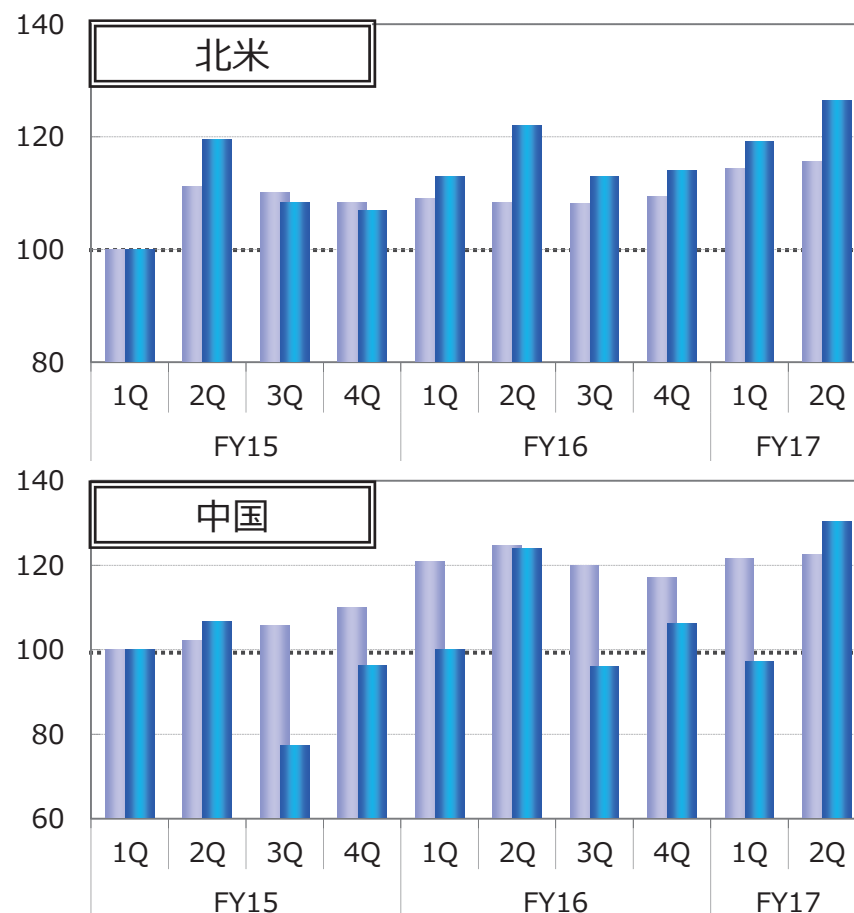
航空事業

国際旅客事業（事業動向）

（ANAブランド）

四半期別 方面別 座席キロ・旅客キロ 推移

（指数 FY15 1Q=100） ■：座席キロ ■：旅客キロ



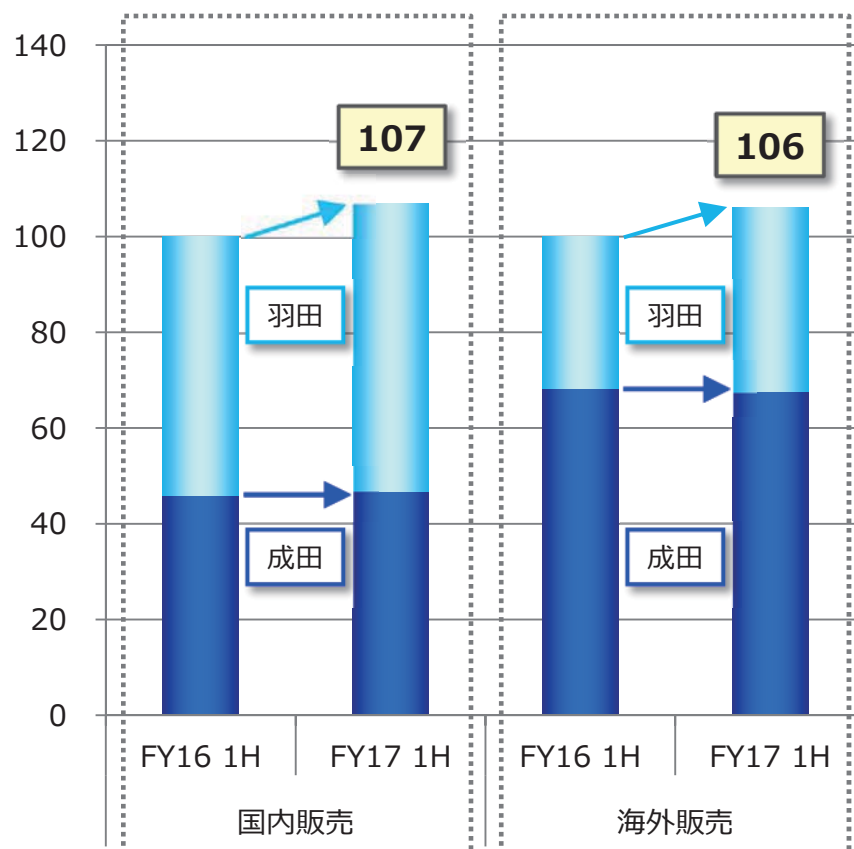
航空事業

国際旅客事業（事業動向）

（ANAブランド）

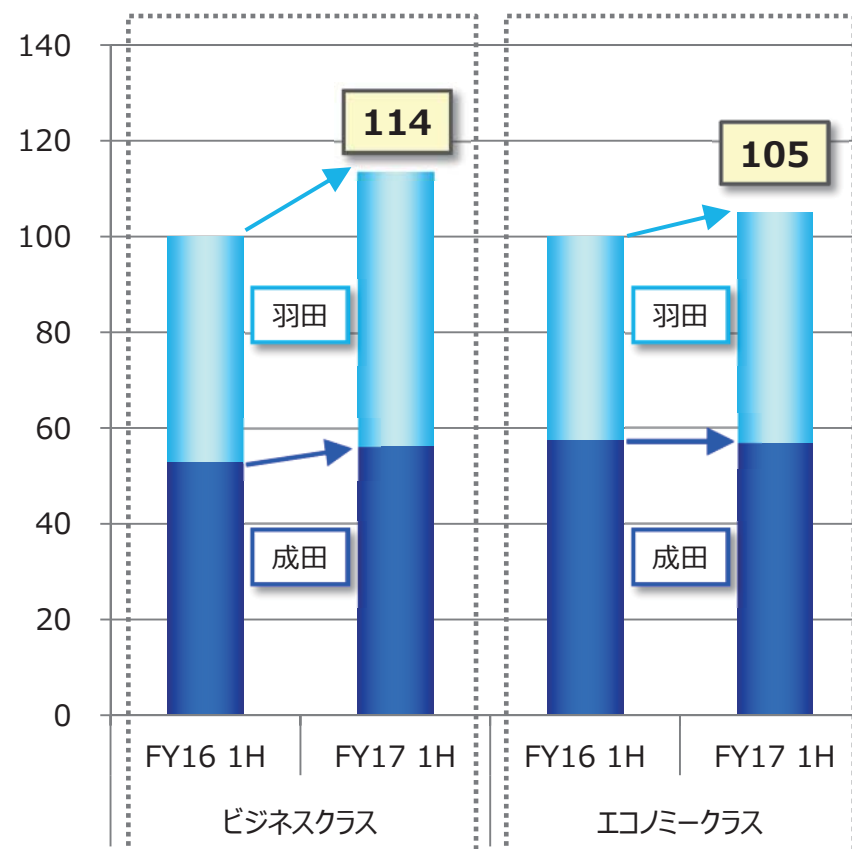
販売地別 実績（前年同期比較）

旅客数 指数
 (FY16 1H=100)



クラス別 実績（前年同期比較）

旅客数 指数
 (FY16 1H=100)



航空事業

国内貨物事業（実績）

	FY2016 第2四半期累計	FY2017 第2四半期累計	前年比(%)	FY2017 第2四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	921	912	△ 1.0	487	△ 2.1
有償貨物トンキロ（百万）	225	222	△ 1.5	117	△ 2.3
貨物輸送重量（千トン）	222	216	△ 2.8	114	△ 3.5
貨物重量利用率（%）	24.5	24.4	△ 0.1*	24.1	△ 0.1*
貨物収入（億円）	150	151	+ 0.5	79	+ 0.1
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	16.4	16.6	+ 1.5	16.3	+ 2.3
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	66.9	68.3	+ 2.1	67.8	+ 2.5
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	68	70	+ 3.4	69	+ 3.8

* 貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

国際貨物事業（実績）

	FY2016 第2四半期累計	FY2017 第2四半期累計	前年比(%)	FY2017 第2四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	3,267	3,391	+ 3.8	1,716	+ 3.8
有償貨物トンキロ（百万）	1,999	2,222	+ 11.2	1,124	+ 10.4
貨物輸送重量（千トン）	457	500	+ 9.4	256	+ 8.8
貨物重量利用率（%）	61.2	65.5	+ 4.4*	65.5	+ 3.9*
貨物収入（億円）	418	548	+ 31.1	279	+ 30.8
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	12.8	16.2	+ 26.3	16.3	+ 26.1
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	20.9	24.7	+ 17.9	24.8	+ 18.5
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	92	110	+ 19.8	109	+ 20.3

* 貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

【参考】国際フレイター（実績）

本表のデータは、P24記載実績の内数

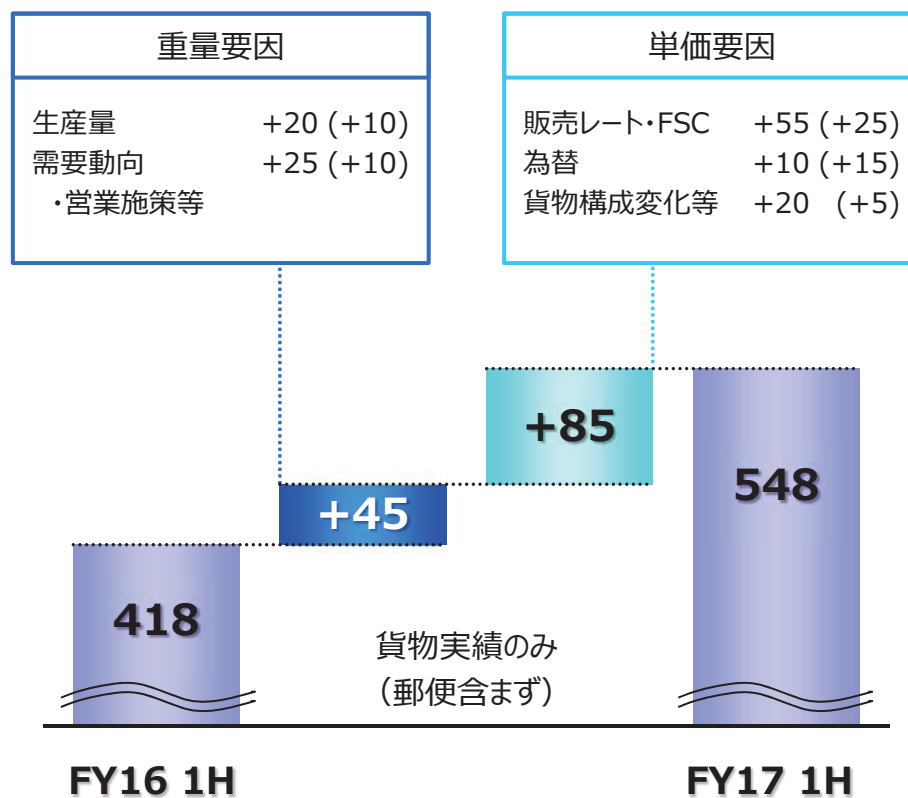
	FY2016 第2四半期累計	FY2017 第2四半期累計	前年比(%)	FY2017 第2四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	627	541	△ 13.6	275	△ 14.5
有償貨物トンキロ（百万）	364	347	△ 4.5	179	△ 4.5
貨物輸送重量（千トン）	188	189	+ 0.5	98	+ 0.3
貨物重量利用率（%）	58.0	64.2	+ 6.2*	65.1	+ 6.8*
貨物収入（億円）	133	137	+ 3.2	70	+ 10.8
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	21.2	25.3	+ 19.5	25.6	+ 29.6
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	36.5	39.5	+ 8.0	39.4	+ 16.0
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	71	72	+ 2.7	72	+ 10.5

* 貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

国際貨物事業（事業動向）

第2四半期累計 収入増減要因



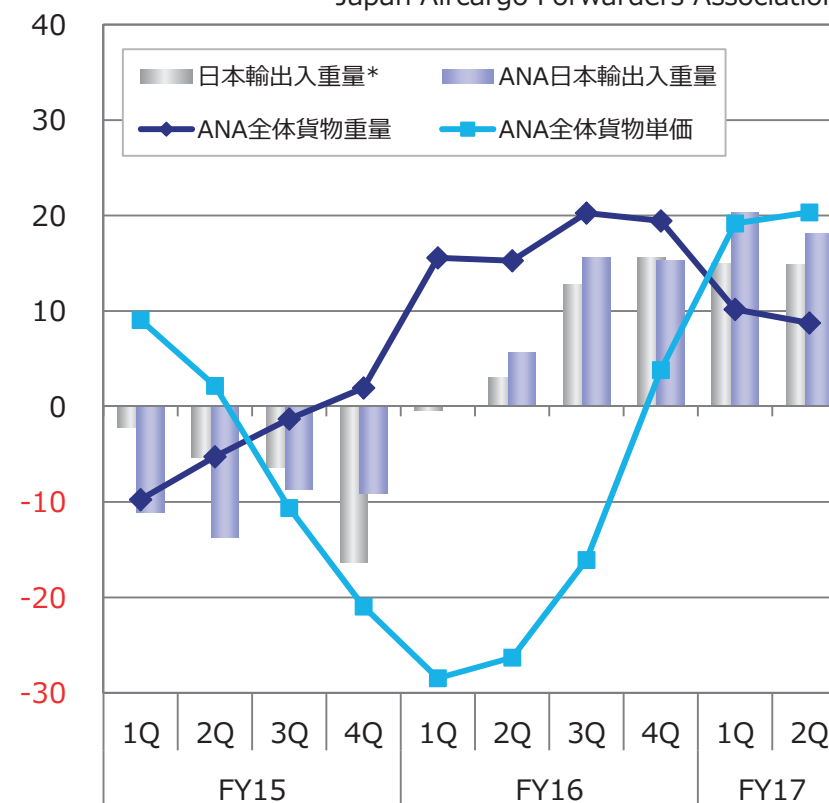
(カッコ内は第2四半期のみの実績値)

単位：億円

四半期別 実績推移

(前年比：%)

* Japan Aircargo Forwarders Association



FY16の前年比については、
販売手数料の廃止による影響を除いた実質的な単価で算出

航空事業

LCC事業（バニラエア）

	FY2016 第2四半期累計	FY2017 第2四半期累計	前年比(%)	FY2017 第2四半期	前年比(%)
(国内線・国際線合計)					
座席キロ（百万）	1,994	2,516	+ 26.2	1,295	+ 19.7
旅客キロ（百万）	1,726	2,187	+ 26.7	1,151	+ 18.9
旅客数（千人）	1,016	1,378	+ 35.7	726	+ 27.6
座席利用率（%）	86.6	86.9	+ 0.3*	88.9	△ 0.6*

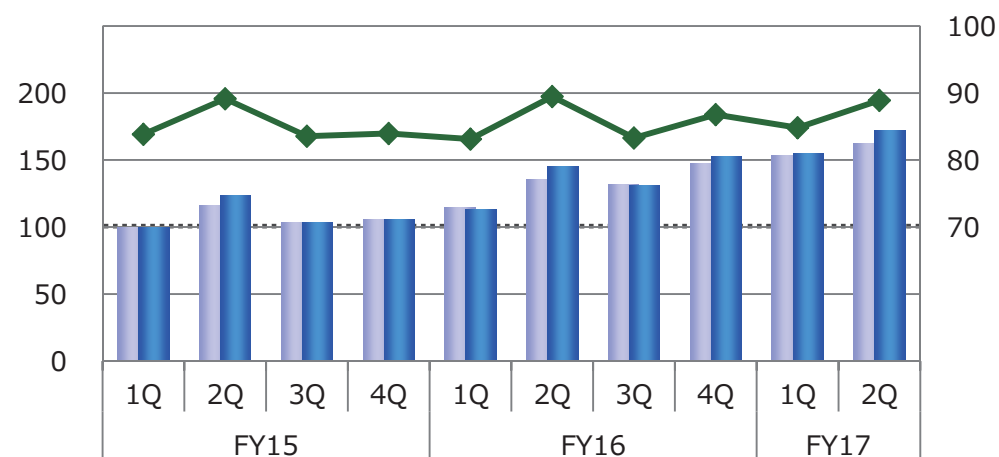
* 座席利用率のみ前年差

運用航空機数

エアバスA320-200型機：13機
(2017年9月末 現在)

左軸（指数 FY15 1Q=100）
右軸（実績:%）

■：座席キロ ■：旅客キロ
◆：座席利用率



航空事業

LCC事業 (Peach Aviation)

(国内線・国際線合計)

	FY2017 第2四半期累計	FY2017 第2四半期
座席キロ (百万)	3,326	1,714
旅客キロ (百万)	2,923	1,541
旅客数 (千人)	2,507	1,320
座席利用率 (%)	87.9	89.9

運用航空機数

エアバスA320-200型機：19機
(2017年9月末 現在)

【新規就航路線 (第2四半期)】

- 仙台 - 札幌 (新千歳)
- 札幌 (新千歳) - 福岡
- 札幌 (新千歳) - 台北 (桃園)
- 仙台 - 台北 (桃園)

9/24 就航

9/25 就航

航空事業以外のセグメント

セグメント別実績

単位：億円

	航空関連事業			旅行事業		
	FY2016 第2四半期累計	FY2017 第2四半期累計	前年差	FY2016 第2四半期累計	FY2017 第2四半期累計	前年差
売上高	1,277	1,415	+ 138	824	835	+ 10
営業利益	53	68	+ 15	20	22	+ 2
減価償却費	25	23	△ 1	0	1	+ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	78	92	+ 13	20	24	+ 3
EBITDAマージン(%)	6.2	6.5	+ 0.3	2.5	2.9	+ 0.4

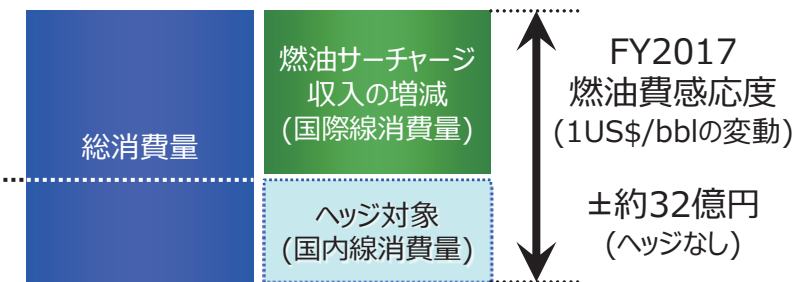
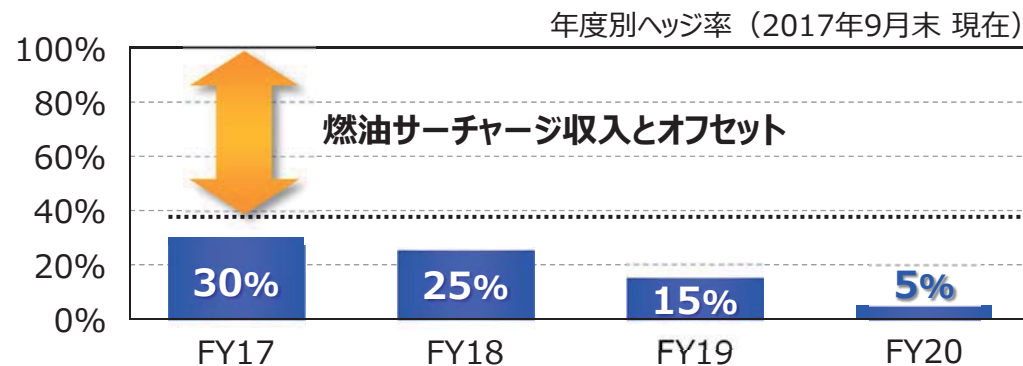
	商社事業			その他		
	FY2016 第2四半期累計	FY2017 第2四半期累計	前年差	FY2016 第2四半期累計	FY2017 第2四半期累計	前年差
売上高	689	691	+ 2	166	186	+ 19
営業利益	26	22	△ 3	7	16	+ 9
減価償却費	5	6	+ 0	0	1	+ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	31	28	△ 3	8	17	+ 9
EBITDAマージン(%)	4.6	4.1	△ 0.5	4.9	9.6	+ 4.7

燃油・為替ヘッジの進捗状況 (ANAブランド)

【燃油ヘッジ 基本方針】

- ・国内線消費量を対象にヘッジ（3年前から取引開始）
- ・国際線消費量は原則としてヘッジ対象外（燃油サーチャージ収入で対応）

(US\$/bbl)	FY17 1H実績	FY17 前提値
ドバイ原油	50.1	55
シンガポールクロシン	62.0	68

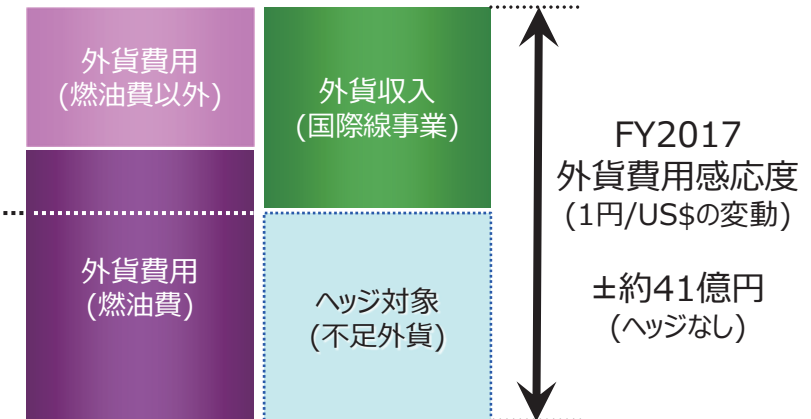
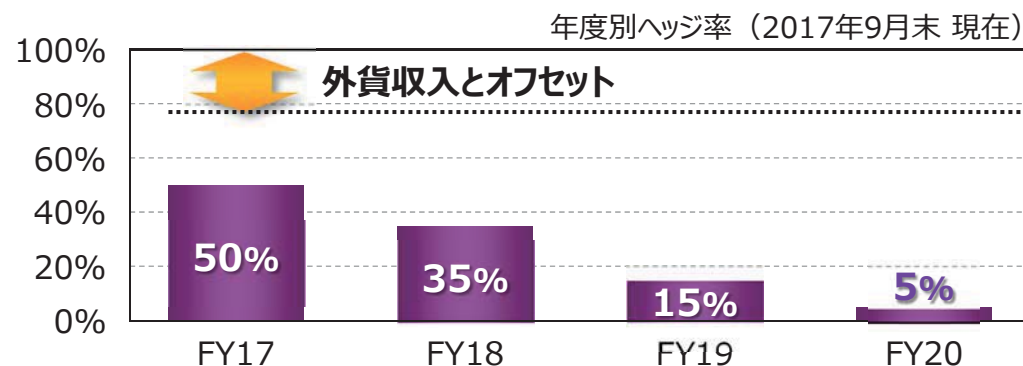


【為替ヘッジ 基本方針】

- ・不足する外貨量を対象にヘッジ（3年前から取引開始）

※ヘッジ率は外貨費用（燃油費）に対する進捗

(円/US\$)	FY17 1H実績	FY17 前提値
ドル円レート	111.1	110



3. 2017年度 通期業績予想（詳細）



2017年度 通期業績予想

連結業績予想

単位：億円

	FY2016	FY2017 (修正予想)	前年差	FY2017 (当初予想)*
売上高	17,652	19,250	+ 1,597	19,100
営業費用	16,197	17,650	+ 1,452	17,600
営業利益	1,455	1,600	+ 144	1,500
営業利益率(%)	8.2	8.3	+ 0.1	7.9
経常利益	1,403	1,500	+ 96	1,400
親会社株主に帰属する 当期純利益	988	1,320	+ 331	1,250

市況実績・前提	FY2016	FY2017 (修正なし)
為替レート (円/US\$)	108.4	110
ドバイ原油 (US\$/bbl)	46.9	55
シンガポール燃料油 (US\$/bbl)	58.4	68

*2017年4月28日開示

2017年度 通期業績予想

セグメント別 業績予想

単位：億円

	FY2016	FY2017 (修正予想)	前年差	FY2017 (当初予想)*
売上高	航空事業	15,363	+ 1,556	16,740
	航空関連事業	2,644	+ 155	2,740
	旅行事業	1,606	+ 33	1,700
	商社事業	1,367	+ 72	1,460
	報告セグメント計	20,981	+ 1,818	22,640
	その他	347	+ 22	360
	調整額	△ 3,676	△ 243	△ 3,900
	合計（連結）	17,652	+ 1,597	19,100
営業利益	航空事業	1,395	+ 124	1,410
	航空関連事業	83	+ 16	90
	旅行事業	37	+ 2	45
	商社事業	43	+ 1	45
	報告セグメント計	1,559	+ 145	1,590
	その他	13	+ 6	20
	調整額	△ 117	△ 7	△ 110
	合計（連結）	1,455	+ 144	1,500

2017年度 通期業績予想

航空事業 収入・費用予想

単位：億円

	FY2016	FY2017 (修正予想)	前年差	FY2017 (当初予想)*
売上高	国内線旅客	6,783	+ 86	6,810
	国際線旅客	5,167	+ 592	5,710
	貨物郵便	1,324	+ 135	1,390
	その他	2,087	+ 742	2,830
	合計	15,363	+ 1,556	16,740
営業費用	燃油費・燃料税	2,736	+ 203	2,990
	燃油費以外	11,232	+ 1,227	12,340
	合計	13,968	+ 1,431	15,330
営業利益	営業利益	1,395	+ 124	1,410

*2017年4月28日開示

補足資料



補足資料

運用航空機数

FY2016
期末FY2017
第2四半期末前年度
期末差

保有機数

リース機数



Boeing 777-300/-300ER	29	29	—	24	5
Boeing 777-200/-200ER	24	23	△ 1	17	6
Boeing 787-9	21	25	+ 4	23	2
Boeing 787-8	36	36	—	31	5
Boeing 767-300/-300ER	37	36	△ 1	25	11
Boeing 767-300F/-300BCF	12	12	—	8	4
Airbus A321-200neo	0	1	+ 1	—	1
Airbus A321-200	4	4	—	—	4
Airbus A320-200neo	2	3	+ 1	3	—
Airbus A320-200	10	7	△ 3	7	—
Boeing 737-800	36	36	—	24	12
Boeing 737-700	7	7	—	7	—
Boeing 737-500	17	16	△ 1	16	—
Bombardier DHC-8-400	21	22	+ 1	22	—
ANA 計	256	257	+ 1	207	50
 Airbus A320-200	12	13	+ 1	—	13
 Airbus A320-200	—	19	+ 19	—	19
ANAグループ 計	268	289	+ 21	207	82

補足資料

国際旅客 方面別実績（構成比）

(ANAブランド)

		FY2017 第2四半期累計 構成比	前年差	FY2017 第2四半期 構成比	前年差
旅客収入	北米	31.3	△ 0.7	30.6	△ 1.0
	欧州	20.5	+ 1.4	20.4	+ 1.1
	中国	13.8	△ 0.8	15.0	△ 0.2
	アジア・オセアニア	29.5	+ 0.3	28.6	+ 0.5
	リゾート	4.9	△ 0.1	5.3	△ 0.4
座席キロ	北米	32.6	△ 0.7	32.5	△ 0.5
	欧州	16.2	△ 0.2	16.2	△ 0.4
	中国	11.1	△ 1.0	11.0	△ 1.1
	アジア・オセアニア	35.3	+ 2.1	35.6	+ 2.4
	リゾート	4.9	△ 0.2	4.8	△ 0.4
旅客キロ	北米	33.1	△ 1.2	32.8	△ 1.3
	欧州	17.2	+ 1.0	17.2	+ 0.4
	中国	9.9	△ 0.7	10.9	△ 0.3
	アジア・オセアニア	34.3	+ 1.3	33.7	+ 1.7
	リゾート	5.4	△ 0.4	5.4	△ 0.5

補足資料

国際貨物 方面別実績（構成比）

		FY2017 第2四半期累計 構成比	前年差	FY2017 第2四半期 構成比	前年差
貨物収入	北米	31.0	+ 5.7	30.5	+ 2.6
	欧州	16.0	+ 1.1	15.8	+ 0.2
	中国	24.5	△ 5.8	24.7	△ 2.2
	アジア・オセアニア	23.8	+ 0.1	24.2	+ 0.7
	その他	4.6	△ 1.1	4.8	△ 1.4
有効貨物 トンキロ	北米	37.0	+ 0.6	36.8	+ 0.7
	欧州	16.1	△ 0.2	16.0	△ 0.3
	中国	16.3	△ 0.6	16.3	△ 1.0
	アジア・オセアニア	27.9	+ 1.3	28.1	+ 1.6
	その他	2.7	△ 1.0	2.7	△ 1.0
有償貨物 トンキロ	北米	37.1	△ 0.8	36.2	△ 1.7
	欧州	20.5	△ 0.2	20.5	+ 0.2
	中国	14.1	+ 0.2	14.3	△ 0.2
	アジア・オセアニア	25.4	+ 1.3	26.0	+ 2.3
	その他	2.8	△ 0.6	2.9	△ 0.6

ANAグループが目指すもの

グループ経営理念

安心と信頼を基礎に
世界をつなぐ心の翼で
夢にあふれる未来に貢献します

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である
私たちはお互いの理解と信頼のもと
確かなしくみで安全を高めていきます
私たちは一人ひとりの責任ある
誠実な行動により安全を追求します

グループ経営ビジョン

ANAグループは、
お客様満足と価値創造で
世界のリーディングエアライングループを目指します

免責事項

当資料には、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社グループの主要事業である航空事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

ご清聴ありがとうございました。

当資料はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ana.co.jp/group/investors>

【日本語】 株主・投資家情報 ➡ I R 資料室 ➡ 決算説明会資料

ANAホールディングス(株) グループ経理・財務室 財務企画・I R 部

Eメール : ir@anahd.co.jp